



平成16年11月完成予定、道頓堀川水辺整備イメージ

夢と勇気を忘れず、 さらなる魅力づくりを！

大阪への観光客の流入がマイナスに転じたという。USJの集客効果も一巡し、とりわけ大きな魅力創出のしかけが生まれていないからだろう。

しかし、大阪市内では確実にさまざまな顕著な動きが見受けられている。都心では「道頓堀川の水辺の整備」「中座、浪花座跡の再開発」「御堂筋のオープンフェスタ」など集客の動きも目立ってきた。一方、周辺部でも「空堀地区、上町台地」や「平野郷と住吉大社周辺」で地域の景観資源を生かしたまちづくりの推進が進んでいる。昨年秋に決定した「文楽の世界無形遺産への登録」も大阪人を勇気づけるビッグニュースだった。

府下でも、堺では路面電車の見直しと継続が行政・市民の共通テーマとして取り組みが始まった。天王寺蕪、田辺大根、勝間南瓜など、なにわの伝統野菜復活の動



野杓育郎
なにわ名物開発研究会
代表幹事

きは、各地でいつそう活発になってきている。これらに共通するものは「文化の仕掛け」、「ゆとり、いやしのスローライフ」、「市民が主役となるシステム」、そして、大阪固有の「歴史・伝統・地域文化の再認識」である。

昨年末、大阪市政が磯村前市長から関新市長へとバトンタッチされた。確かに、WTCやATCなど市が抱える不良資産は並大抵の規模ではない。上方文化の象徴、道頓堀芝居まちから「五座」が消えていくのを見るにつけ、「あんなお金を投入するんなら、せめて中座でも買い取って残したらいいのに」との声が沸き起こった。だが、それは単にお金の問題だけではない。大阪にとつていま、これから、何が大切か！を再度確認しなければならぬ。なぜなら、私たち一人ひとりがこのまちが育み培ってきた、そして脈々といきづいてきた「大切

なにわ名物 開発研究会 NEWS

〈第13号〉
2004年1月22日発行

発行
なにわ名物開発研究会

編集
広報部

〒542-0076
大阪市中央区難波1-7-2
SENOYAビル3F
TEL・FAX 06-6213-5554
<http://www.naniwa-meibutsu.com/>



写真提供 大阪市

な財産」を受け継ぎ、さらに発展させようとの気概がなければ無駄ガネになってしまうからである。
私たちが失くしてしまったもの、それを行政の怠慢の責任だけには押し付けられない。

今年、なにわ名物開発研究会は、大阪新ブランド「百年大阪・粋・モダン流」を掲げて活動を推進する。この新ブランド誕生には、大阪人の「夢と勇気」がこめられている。大阪を元気にするため、なにわ名物開発研究会はさらに様々なアプローチで活動の輪をひろげていく。具体的な事業推進プランを掲げ、経済効果も目指し、さらに大阪のまちと人と心の魅力づくりを進めていきたい。

百年大阪



モダン流

1903年、大阪開港。
川辺の居留地に漂る西洋文化、
カフェーの喧嘩から派手な踊り、ジャズのリズム、
夜空にまわりのシルエットを浮かび上がらせるイルミネーション……
大阪はかつてないほどの賑わいを覚え、人々の心を躍らせた。
大阪が最も輝いていた時代。

なにわの遺産。

その昔大阪には、情緒あるものを愛で、文化を育む風土があった。
西の空を采める夕陽、川面を照らす赤い灯籠の灯、
酔な芸で酔わせる劇場で芝居小屋……
当たり前すぎて只矢いつつある記憶のまろ。

今こそ取り戻したい夙物の大阪。

過去のモダン、現在のモダン、未来のモダン。

いつの時代にも存在する現代感覚。

他に類を及ばない獨創性、新しいものを生み出すパワー、口舌と誇り……
なにわの物づくりにマインドに、今、火がついた。

意志を持って発信する、大阪新ブランド

『百年大阪 〰️ モダン流』

このブランドストーリーを基本に、「なにわオーセンティック」をコンセプトに本物の大阪を表現する為のブランド、『百年大阪 〰️ モダン流』は、生み出されました。

これは単にバーチャルなプランでは無く、今後会の活動と共に会を超え、様々な参加者と共同・合同(コラボレーション)で共に真剣にビジネスへの展開を目指す為に事業運営を行って参ります。そのコラボレーションシップによりこのブランドを活用され様々な商品やサービスが生み出されるだけでなく、フラッグショップの設置、イベントや観光キャンペーンへの拡がり等、ブランドを軸にした大阪ルネッサンス活動を行って参ります。

(株)ムーヴ 原 晃樹

大阪元気もんフェスティバル

新年早々の1月15日、中之島中央公会堂においてなにわあきんど塾同友会様始め、産業創造館関連の3団体の共催で、「大阪元気もんフェスティバル」という合同展示会が開催されました。

「元気もんが集まって、大阪がもつ本来の活気を発信し、明日への活力に……」とのスローガンに共鳴し、なにわ名物開発研究会も後援、出展いたしました。

地下第4会議室をご提供頂き、島野珈琲(株)、ピンハウス(株)、(株)せのや、(株)ARS、(株)ヤマカワ、アルカナ(株)、(有)コスモスフーズ、(株)サンタプラネット、(株)ナカニシ製菓、(株)サクラクレパス、(株)岸本吉二商店、China Stage Co., LTD.、富屋製菓(有)、(株)長寿堂恵佳、(株)楽天軒本店の15社の皆さんが出展し、研究会PRには、野村代表、島野副代表、灰谷総務部長、大槻嬢、原チームリーダー、大澤さん、日野事務局長、石川事務局次長にご協力いただきました。

また、チンドンパフォーマンスとして、清水さん、仲井さんのお二人に会場全体が盛り上がる、素晴らしい大道芸をご披露頂きました。

同じ「大阪を元気にする」との理念を共有する仲間と共に有意義な事業が出来た事改めて皆様に感謝申し上げます。

(株)サクラクレパス 松本 好正



9月19日
9月月例会
「なにわ名物開発研究会ってなんやねん？」



なにわ名物研究会が設立されたのは平成8年のこと。それから約8年の歳月が流れようとしています。9月19日、大阪市中央公会堂で行われた月例会では、本会についてより理解を深めてもらおうと、野村育郎代表幹事にインタビュ形式で話しを聞くトークショーが企画されました。新入会員やオプザーバーの方には「この会って何してるん？」という素朴な疑問を解決してもらえよう、また、設立当初から入会されている会員の方々にも改めて「こんな面もあったんか」と感じてもらうべく、繰り広げられた数十分。野村代表をはじめ、会員の皆様のお話が聞けた貴重な機会となりました。

当日、インタビュアーを任せられた私自身、何を隠そう直前の幹事会で認定されたばかりの新入会員。右も左も分からぬ新参加者だったのです…。(言い訳?)

HAPPY
大槻 直美

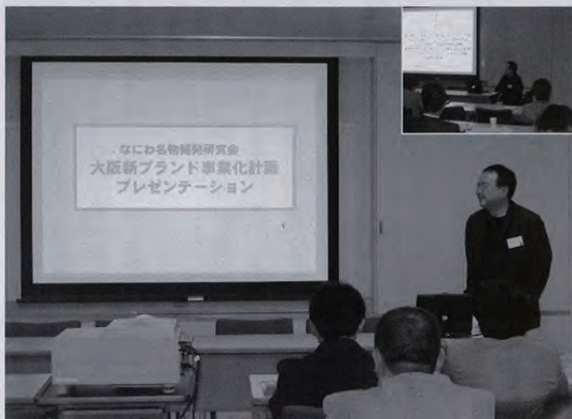


10月20日
10月月例会
ブランド事業チーム報告



10月度の例会は産業創造館において、ブランド事業チームによる事業プレゼンテーションを実施。大阪新ブランド『百年大阪 粋モダン流』の概要が発表を行いました。(ブランドの詳細は別記)
スライドショーによるプレゼンテーションがおよそ1時間、コンセプト、ストーリー、ブランドロゴのお披露目から、事業構想に至るまで説明をし、活発な質疑が行われた。今後、この『百年大阪 粋モダン流』ブランドがなにわ名物開発研究会発で、大阪に大きな渦を作っていく事を期待される。

(株)ムーヴ 原 晃樹



11月15日
11月月例会
商品開発の極意伝授?!



商品開発部会主催の月例会が、当会副代表の野村氏がオーナーであります「コンペイトウ・ミュージアム」で開催され、40名を超える参加者が集いました。
今回の月例会は、菓子商品としての市場(おみやげ業界)の位置づけやマーケティング戦略等と、現在、奈良県内で発売中の「大仏さまの鼻くそ」(菓子)について開発プロフィールや製造工程における苦労話等が発表されました。これから大阪名物にふさわしい食品関連商品や雑貨品をプロデュースしていく方達にとっては、とても有意義なお話が聞けたのではないのでしょうか。

後半は、手作り菓子に挑戦していただきました。コンペイトウを自分の手で作り上げる作業では、みなさん楽しく作り上げ、きれいなピンク色のコンペイトウが出来上がりました。「食べるアート」と題しました。砂糖でできたキャンバスに、それぞれ思い思いの絵を描いていくという作業では、みなさん童心に還ったような表情で取り組んでいました。

晩秋の中、商品開発部会にふさわしい月例会でした。
ヤマモト物産



山本 武司

12月26日
12月月例会
上町台地の活性化

浪速 高津宮において月例会を開催致しました。今回は、西代官山クラブ・代表小田切聡氏により、上町台地について講演をしていただきました。

■シテイプロモーション 街の紹介
第一段階
インターネットで二年間
※ヒット数は上がるが若年層のみ

第二段階
年配者との接点を求めて地図の作成
平成15年4月

第三段階
地域密着を計り、観光案内所兼貸し自転車業の開始(お店の紹介や旧所名跡を案内する4コース)
※人との繋がりマーケティング

このような段階を踏んで、若年層から年配者、圏内から圏外へと徐々に、上町台地を広めて行っているそうです。
数年後の「なにわ大賞」大賞受賞を期待しましょう!
(有)アシスト 山下 敦子



FROM部会

総務部会

本年度は「会員は4つの部会のいづれかに所属」というスタイルで始まりました。年度内に入会された新入会員さんに関しては、希望者のみ各部会に所属していただいております。ここだけの話、新入会員さんの「総務部希望率」がかなり高いです。理由→楽しく活動、仕事&人生に役立つ経験満載。さらに「部長・副部长がとっても素敵」。全会員が総務部会に所属する日も近い？

広報部会

広報部の主軸に「広報誌」があります。今年度は、この広報誌発行に当たって、各部会・各会員様及び月例会の講師諸先生方のご協力により、B5判サイズからA4判サイズに大きくし、文字も少し大きくなり、見やすい、読みやすい、分かりやすい広報誌として少しずつ変身をしています。

新入会員紹介

〈正会員〉

(株)アート、コーポレーション
大垣 重子
ビルメンテナンス

(株)ワイ・ワイ・ワーク
山本 悦司
グラフィックデザイン

〈個人会員〉

辰巳弘子
Bella Grazie
(ベラ・グラツィエ)

所 信昭
行政書士・社会保険労務士

大熊章悦
鉄鋼メーカーで販売ルートの構築・開発企画・営業

会員交流会

交流部はなにわ名物の中で、皆様のビジネスに関わる部分のサポートを指して事業を行っております。来る3月には「大阪ギフトショー」になにわ名物として合同展示を行います。会内外での、販路開拓やマーケティングなど会員の皆様の事業に役立つ出合いの場を提供する事が交流部の目的です。

商品開発部会

今年度の研究会事業も残り2ヶ月程です。開発部会もあと2回ほど開催しますので、ご参加よろしくお願ひ致します。2月には「大阪新ブランド」と連携した開発ミーティングを予定しております。3月末には昨年に引き続き、観光地見学会を開催したいと思います。どこか訪問したい所があれば、メール・FAX・電話等で連絡お願ひ致します。土曜日あたりで、日帰りを予定しております。今年度は奈良?淡路?それとも長浜?.....

会 員 紹 介

(株)アート、コーポレーション

〒583-0831 大阪府藤井寺市小山新町九一十五
電話 〇七二九(五)〇六七二二

建物・まるごと! おまかせ!
♪アートの引越〜センターへ♪
お馴染みの!では、ありません〜!
が、お蔭様で25周年目を迎えるビルメンテナンスの会社。
建物に関する、美観・環境保守を主に安心と安全を提供。

お客様のニーズに、「NO!」は言わないをモットーに取組んで、警備・建築広告・イベント企画・介護用品販売・リース・各種人材派遣業務を営んでおります。

現在、メデイカル関連業と福祉関連業に力をいれ、微力ながらも少しでも大阪の活性化に貢献できれば、「えええなア〜!」と、一生懸命頑張っております。

建物の事で困ったなら、まずは、お電話! お待ち致しております。



富屋製菓有限公司

〒534-0013 大阪府都島区内代町二一十八
電話 〇六(六)九五二〇五五三

弊社は、お客様に喜ばれる商品作りをモットーに、大阪みやげ菓子の製造・販売を行っております。なかでも銘菓「こいさん」(小倉餡やマレードをスポンジ風生地でサンドしたブッセ)は、その名にふさわしいソフトタッチのお菓子として、40年以上のロングセラー商品です。

また、別会社として新大阪駅の2階、味道筋の中で麵処「いとほん」(うどん屋)も経営しています。これからも「なにわ名物の定番」と、お客様に末永くご愛顧頂ける商品を創っていきたく思いますので宜しくお願い致します。



部会活動などにお使い下さい

国際集客都市・大阪のシンボルとなる「なにわ名物」を効果的にアピールする有意義な情報交換の場として、会合や打ち合わせに、またイベントの備品整理の場にお使いください。

●本部
大阪市中央区難波1-7-2
SENOYAビル3F
tel・fax (06) 6213-5554

●事務局 (会議や諸事連絡)
大阪市中央区本町橋2-23
第七松屋ビル1231
tel (06) 6947-5260
fax (06) 6947-5254

入会について

■入会金■

10,000円〈正会員〉
5,000円〈個人・協会員〉

■年会費■

36,000円〈正会員〉
12,000円〈個人・協会員〉

※協会員は他地域の方をさします。